

# 上毛町文化財保存活用地域計画 概要版



令和 7 年 3 月

上 毛 町

# 1 作成にあたって

## 計画作成の背景と目的

本町には、豊かな自然と人々の生活とともに作り上げた文化財が数多くあり、『上毛町文化財活用まちづくり計画(H24)』に沿って、町民の理解や協力を得ながら、地域の貴重な宝である文化財の保存・活用を促進してきました。しかし、近年の人口減少や少子高齢化を背景とした担い手不足などにより、文化財の滅失や散逸、地域で伝え継がれてきた祭事や年中行事などの継承が課題となっています。

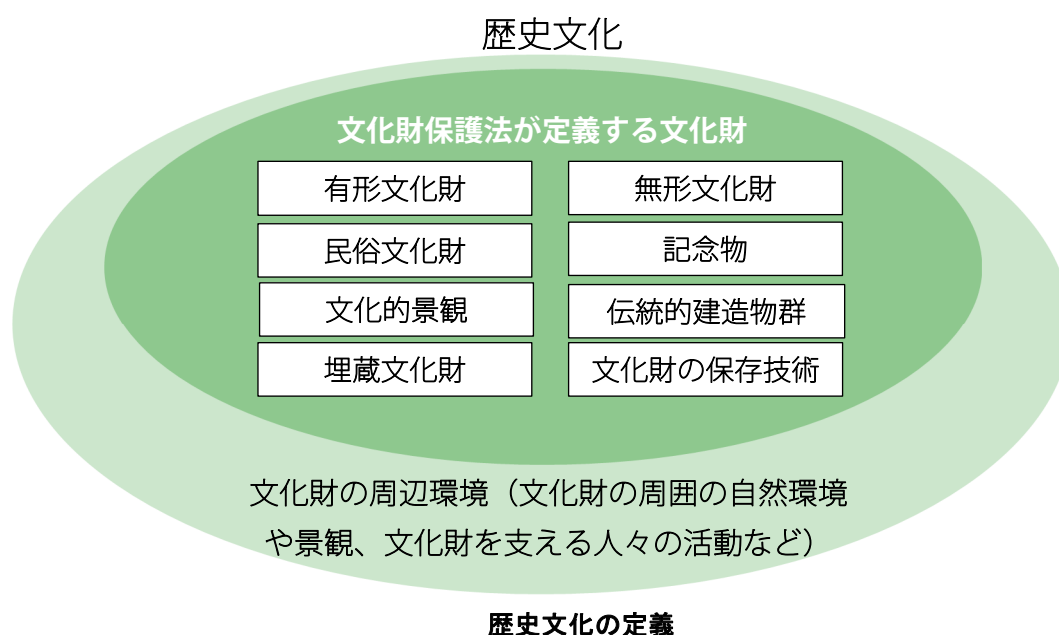
そこで、地域住民、関係団体、企業、学校、行政などが地域総がかりで文化財を知り、守り、活用し、育成する体制を構築し、文化財を活かしたまちづくり、人づくり、にぎわいづくりにつなげていくことを目指し、『上毛町文化財保存活用地域計画』を作成しました。

## 計画期間

計画期間は、令和 7 (2025)～令和 16(2034)年度の 10 年間とします。

## 本計画における文化財の定義

本計画で対象とする「文化財」とは、法で規定する「有形文化財」、「無形文化財」、「民俗文化財」、「記念物」、「文化的景観」、「伝統的建造物群」、「埋蔵文化財」、「文化財の保存技術」とします。さらに、文化財の周辺環境（文化財の周囲の自然環境や景観、文化財を支える人々の活動など）についても、それ自体が資源として保存・活用を図るべきものととらえ、それらの総体を「歴史文化」と称して、本計画の対象とします。



## 2 上毛町の概要

### 自然的環境

地形的には、山国川と佐井川に挟まれ、南側の山間部に向かい、三角形に広がっています。面積の半分を山地が占めますが、その他は起伏が少なく、おおむねなだらかな田園地帯であり、棚田など特徴的な景観を見せています。

### 社会的環境

本町の人口は 7,179 人（R6 年 7 月末）で減少傾向にあり、高齢化率は 37% で年々比率が高まっています。農業従事者数、農家数の減少は顕著に表れており、農家数は 523 戸（R2 年）となっています。東九州自動車道には上毛 SIC が設置され、産直処・温泉施設などの複合施設「大平樂」が近接し、地域経済の発展に寄与しています。

### 歴史的環境

本町には 4 世紀に造営された大和政権との関係を示す古墳時代前期の下唐原古墳群から終末期における群集墓など、築造当時のままの姿をとどめる古墳が多く存在します。また、大陸との戦いに備えた唐原山城や、大陸から伝えられた仏教を広める為、多くの寺院が作られました。奈良時代には豊前国上毛郡衙の政庁である大ノ瀬官衙遺跡が置かれ、郡内の政治・文化の中心地となりました。平安時代の終わり頃から、松尾山にあった医王寺では修験道が盛んになり、関連する祭礼などが多く残っています。

## 3 上毛町の文化財の概要

本町において国・県・町が指定する文化財は、令和 6 (2024) 年 8 月現在で国指定が 5 件、県指定が 7 件、町指定が 21 件の合計 33 件 あります。また、本町に（国の）選定保存技術として選定される文化財の保存技術はありません。

また、本町で把握する未指定文化財は、令和 6 (2024) 年 8 月現在で計 780 件 です。

町内の指定等文化財件数（令和 6 年 8 月現在）

| 種別  | 有形文化財 |       |    |     |       |     |      |      | 無形文化財 | 民俗文化財 |      | 記念物    |         |                   | 文化的景観 | 伝統的建造物群保存地区 | 総数 |
|-----|-------|-------|----|-----|-------|-----|------|------|-------|-------|------|--------|---------|-------------------|-------|-------------|----|
|     | 建造物   | 美術工芸品 |    |     |       |     |      |      |       | 有形民俗  | 無形民俗 | 遺跡(史跡) | 名勝地(名勝) | 動物、植物、地質鉱物(天然記念物) |       |             |    |
|     |       | 絵画    | 彫刻 | 工芸品 | 書跡・典籍 | 古文書 | 考古資料 | 歴史資料 |       |       |      |        |         |                   |       |             |    |
| 国指定 |       |       |    |     |       |     |      |      |       | 1     | 4    |        |         |                   |       | 5           |    |
| 県指定 |       |       |    |     |       |     | 1    |      | 4     | 1     | 1    |        |         | -                 | -     | 7           |    |
| 町指定 |       |       | 5  |     | 2     |     | 1    |      | 5     |       | 6    |        | 2       | -                 | -     | 21          |    |
| 総数  | 0     | 0     | 5  | 0   | 2     | 0   | 2    | 0    | 9     | 2     | 11   | 0      | 2       | 0                 | 0     | 33          |    |

## 4 上毛町の歴史文化の特性

本町の自然的・社会的・歴史的環境や文化財の概要を踏まえ、次の3つの特徴を導き出しました。

### 1. 多くの古墳が存在するまち

古墳時代前期から終末期まで、連綿と肥沃な中津平野を見渡せる地に古墳が築造され、盗掘は受けているものの、築造当時のままの姿をとどめています。

### 2. 奈良時代の遺跡が多く残るまち

陸路、海路ともに要衝の地といえ、奈良時代には上毛郡の政治・文化の中心地であったことを示す文化財が残っています。

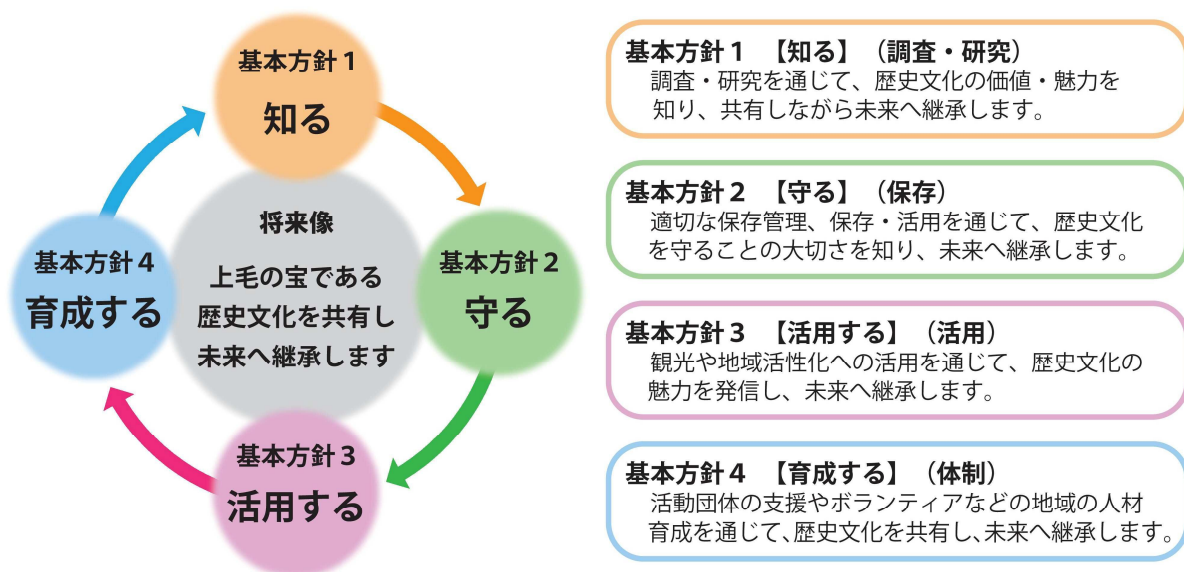
### 3. 修験道の祭礼や習俗が残るまち

松尾山の山内には現在でも修験道に関する文化財が多数存在します。また、山の祭であるお田植祭や、里の祭りである豊前神楽が受け継がれていることが特性といえます。

## 5 文化財の保存・活用に関する将来像

本町の成り立ちや歴史を今に伝える様々な歴史文化が、暮らしの中に根付き、町民の誇りとなっています。その先人が残してくれた貴重な歴史文化の価値や魅力を知り、上毛町の宝として守り、活用していくことは郷土愛の醸成や人材育成につながります。

そこで、上毛町文化財保存活用地域計画の将来像を「**上毛の宝である歴史文化を共有し、未来へ継承します**」と掲げます。そして、その将来像を実現するため「**知る**」「**守る**」「**活用する**」「**育成する**」の4つの基本方針を設け、そのサイクルを積み重ね、文化財の保存・活用を図っていきます。



保存と活用に関する将来像と基本方針の関係性

## 6 文化財の保存・活用に関する課題・方針

本計画に掲げる将来像を実現するために設けた「知る」「守る」「活用する」「育成する」の4つの基本方針について、現状と課題を整理し、個別の方針を設定します。

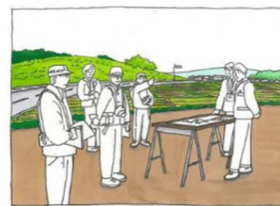
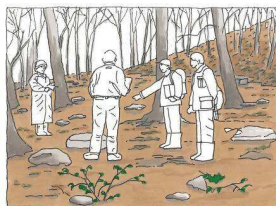
|       | 課題                                                                                                                                                                                                                           | 方針                                                                                                                                                                                                                          |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調査・研究 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財の把握調査の不足と、調査成果の現存確認や保存状態の未確認</li> <li>○指定・登録などによる保護措置が不十分</li> <li>○調査成果のデータベース化及びデジタル化が不十分</li> </ul>                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財の把握調査の推進と、調査成果の現存確認や保存状態の確認</li> <li>○指定・登録などによる保護措置の推進</li> <li>○調査成果のデータベース化及びデジタル化の推進</li> </ul>                                                                              |
| 保存    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○長期的視点に立った指定等文化財の保存・活用事業が未定</li> <li>○保存管理する上での技術的・経済的支援の不足</li> <li>○文化財の毀損・滅失の危機</li> <li>○無形の民俗文化財の消滅の危機</li> <li>○周辺環境を含めた保全事業や他の関係部署との連携が不十分</li> <li>○防災・防犯対策が不十分</li> </ul>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○長期的視点に立った指定等文化財の保存・活用事業の推進</li> <li>○保存管理する上での技術的・経済的支援の検討</li> <li>○文化財の毀損・滅失の回避</li> <li>○無形の民俗文化財の消滅の回避</li> <li>○周辺環境を含めた保全事業や他の関係部署との連携の推進</li> <li>○文化財の防災・防犯対策の推進</li> </ul> |
| 活用    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○来訪者などへの文化財の価値の周知が不十分</li> <li>○来訪してもらうための情報発信・啓発活動や広域的な観光を視野に入れた活用方策の不足</li> <li>○歴史文化に触れ、体験できる機会の不足</li> <li>○歴史文化を活かした地域振興や観光振興などまちづくりへの展開不足</li> <li>○次世代への継承、郷土愛の醸成不足</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○来訪者などへの文化財の価値の周知の充実</li> <li>○来訪してもらうための情報発信・啓発活動や広域的な観光を視野に入れた活用方策の推進</li> <li>○歴史文化に触れ、体験できる機会の充実</li> <li>○歴史文化を活かした地域振興や観光振興などまちづくりへの展開</li> <li>○次世代への継承、郷土愛の醸成の推進</li> </ul>  |
| 体制    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財に関する人材育成の不足</li> <li>○関係団体などとの連携不足</li> </ul>                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○文化財に関する人材育成の推進</li> <li>○関係団体などとの連携の充実</li> </ul>                                                                                                                                   |

## 7 文化財の保存・活用に関する措置

4つの基本方針に沿って実行する個別の措置を示します。

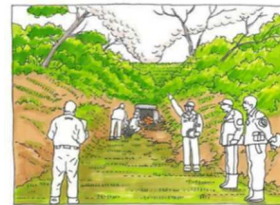
### 調査・研究

- 文化財の未調査分野の把握調査の実施、調査成果の現存確認や保存状態の確認
- 調査・研究による価値づけ
- 文化財の指定・登録などの推進
- 文化財データベース作成・公開



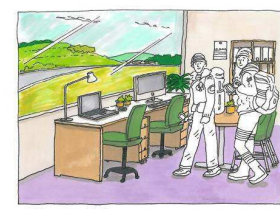
### 保存

- 保存活用計画の作成の検討
- 保存修理、指導・助言
- 保存管理のための新たな財源確保
- 文化財の保存管理
- 収蔵品目録の整備と収蔵施設の集約
- 祭事や年中行事などの記録
- 他部署と連携した河川、池、交通施設などの土木施設周辺環境の保全
- 他部署と連携した自然資源、景勝地(滝)、棚田、モミジ、農村風景の保全
- 文化財ハザードマップの作成
- 文化財の防災・防犯の意識向上



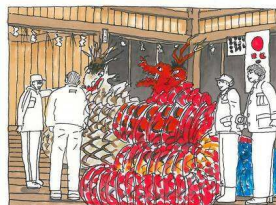
### 活用

- 説明板・案内標識の充実
- デジタル技術を用いた情報発信手段の充実の検討
- ホームページ、SNSなどによる歴史文化の広域的な情報発信
- 民間企業などによる歴史文化の情報発信
- 上毛町歴史民俗資料館などのリニューアルの検討
- 西友枝体験交流センター「ゆいきらら」や中央公民館支館などの活用
- 道の駅、大平楽のガイダンス施設としての活用
- 歴史文化ウォーキングコースの設定
- 学習機会の充実
- 郷土愛の醸成



### 体制

- ボランティアガイドの育成
- 活動団体などとの連携強化
- 広域観光圏の連携



## 8 関連文化財群

3つの関連文化財群を設定します。

### 関連文化財群① 多くの古墳が存在するまち

(方針) 文化財の価値の周知を図ります。そして、地域振興・観光振興と連携した歴史文化の活用を推進します。

(措置) 説明板・案内標識の充実  
歴史文化ウォーキングコースの設定



穴ヶ葉山古墳



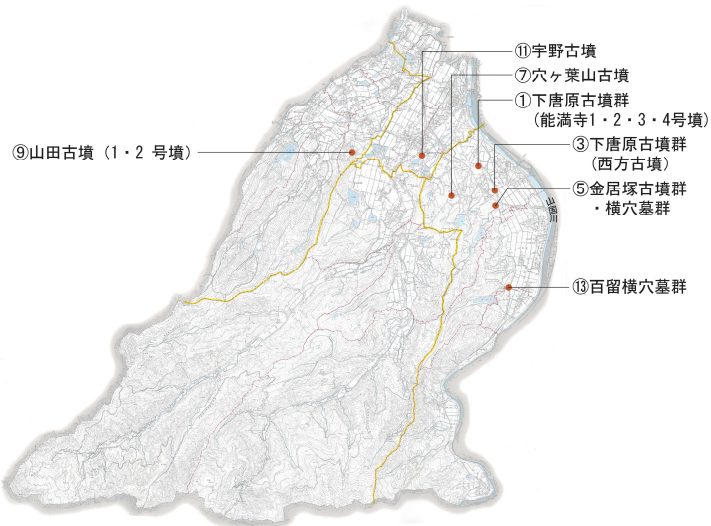
能満寺古墳群



西方古墳



百留横穴墓群



出土遺物は  
上毛町文化財センターに収蔵



### 関連文化財群② 奈良時代の遺跡が多く残るまち

(方針) 指定等文化財の長期的視点に立った保存・活用を推進します。そして、文化財の価値の周知を図ります。

(措置) 保存活用計画の作成の検討  
説明板・案内標識の充実  
デジタル技術を用いた情報発信手段の充実の検討



唐原山城跡



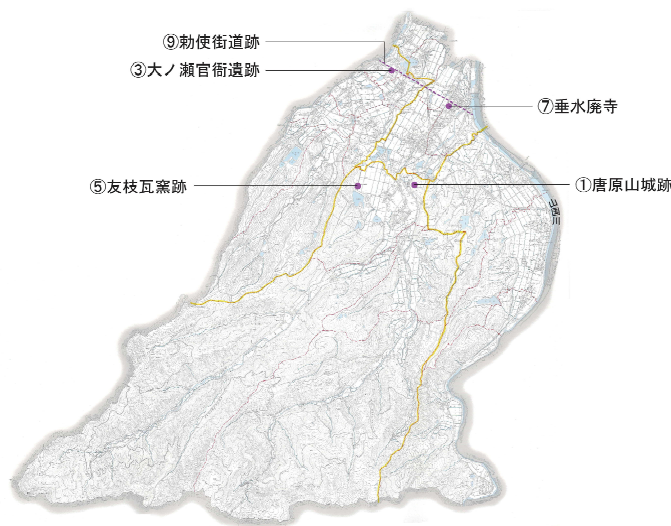
大ノ瀬官衙遺跡



友枝瓦窯跡



垂水廃寺



出土遺物は  
上毛町文化財センターに収蔵



## 関連文化財群③ 修験道の祭礼や習俗が残るまち

(方針) 無形の民俗文化財の情報を記録し、後世に継承するための基礎資料を作成します。そして、活動団体などとの連携を強化し、多くの人が関わりを持てる仕組みを構築します。

(措置) 祭事や年中行事などの記録活動団体などとの連携強化



豊前神楽 (唐原神楽)



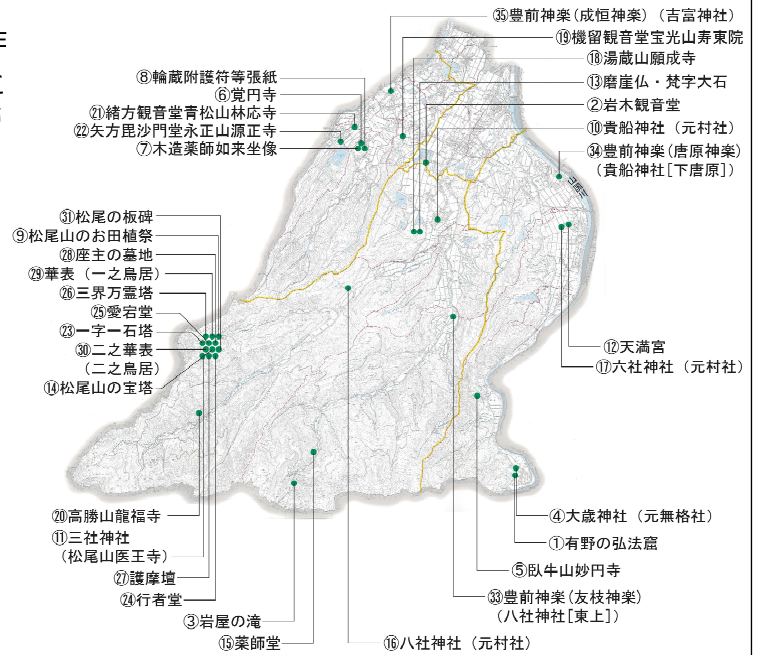
松尾山のお田植祭



護摩壇



松尾山の宝塔



③松尾山山岳信仰関係資料は上毛町歴史民俗資料館と西友核体験交流センター「ゆいきらら」に収蔵



## 9 文化財の保存と活用の推進体制

本計画を推進していくための体制は、次のとおりです。行政や文化財所有者・管理者のみならず、それらを取り巻く地域住民、各種団体、企業などが連携・協働して取り組んでいきます。

